

市民意見の募集結果

小田原市文化によるまちづくり条例の基本計画の素案に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市文化によるまちづくり条例の基本計画の素案
政策等の案の公表の日	令和3年4月26日（月）
意見提出期間	令和3年4月26日（月）から令和3年5月26日（水）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	6件（3人）
インターネット	2人
ファクシミリ	人
郵送	人
直接持参	1人
無効な意見提出	人

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	3
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	2
C	今後の検討のために参考とするもの	1
D	その他（質問など）	0

〈具体的な内容〉

(1) 小田原市の多彩な文化に関すること

	意見の内容 (要旨)	区分	市の考え方 (政策案との差異を含む。)
1	北条氏を強く意識しすぎているのではないか。北条氏以前に小田原を統治した人々や、10代180年間小田原を統治した大久保家についても、素案に記載すべき。	B	<p><武士・戦国の文化>の中で、稲葉氏や大久保氏を含め「北条氏をはじめとする武家」と記載しています。</p> <p>大久保氏の歴史や多大な功績も存じておりますが、小田原の「武家」について、代表として例を挙げるに当たっては、北条氏を挙げるべきだと考えます。</p>

(2) 基本目標と取り組み内容に関すること

	意見の内容 (要旨)	区分	市の考え方 (政策案との差異を含む。)
1	<p>人口増加、観光とハイテク産業について推進すべき。</p> <p>1 足柄、螢田、富水、栢山4駅に急行列車停車検討。</p> <p>2 駅周辺等の電柱等景観整備、メディアへの露出増。</p> <p>3 飯泉国府津線の早期整備</p> <p>4 酒匂川周辺の下水道整備</p> <p>5 小田原アリーナへのプール設置</p> <p>6 駅周辺施設の利用検討 (若年層向け)</p> <p>7 大学等の学校誘致</p> <p>8 ITや高度技術産業の誘致・支援</p>	C	<p>今後、市民ニーズの把握に努めるとともに、検討の参考としたいと考えます。</p>
2	<p>基本目標1～3は現存する文化を守ろうとする施策、基本目標4は将来に変化を起こそうとする政策。</p> <p>基本目標4では要因を認識し、新たな文化を創り出す指針を示すべき。将来老年者の割合が非常に高くなること、デジタルデバイトで高年齢層が切り離されてし</p>	A	<p>基本目標4施策2、デジタル文化の活用の中で、情報格差への配慮について記述します。</p>

	もう事を強く意識し、高齢者を取り残さないよう目標設定してはどうか。		
--	-----------------------------------	--	--

(3) その他

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	戊辰箱根の戦いにおいて、小田原評定の教訓を生かし拙速な判断を下した当時の武士が、後に明治維新から厳しく扱われた出来事を市民に広く周知すべき。	B	計画に基づき、基本目標1施策1小田原の歴史や文化を守り、後世に継承すること、また、基本目標3施策2歴史・文化に対し市民自らが理解を深め、魅力を発信していくことなどに取り組んでいきます。
2	大久保家について、市民に周知する前にまずは市職員に知ってもらいたい。	A	第3章（2）市民による文化の振興と行政の役割の中で、行政側の歴史・文化の把握と保存について記述します。
3	義務教育課程で行う「報徳」教育について、書籍等を書いてあることを盲目的に受け入れるのではなく、報徳教育の背景など、友人や家族と話し合う機会を提供するようなカリキュラムになることを、心から望んでいる。	A	第1章小田原市の多彩な文化＜民衆の文化＞の中に、報徳思想について記述します。計画に基づき、基本目標や施策を実施していきます。

4 提出意見と関係なく変更した点

特になし